外国語活動学習指導案

指導者　Ｔ１　外国語担当　　高畑　律子
Ｔ２　ALT　Darryl　Gibbs

１　日　時　　令和元年 11 月８日（金）　第５校時
２　学　年　　第６学年１組（35 名）
３　単元名　　He is famous. She is great.　人物紹介　（We can!　２　Unit３　）
４　単元について

○　いよいよ来年度より，第５・６学年外国語科（70 時間）が全面実施となる。新学習指導要領によると，「コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，身近で簡単な事柄について，聞いたり話したりするとともに，音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり，語順を意識しながら書いたりして，自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。」とある。

本単元で扱う「We Can!　２　Unit３　He is famous. She is great.」は，音声で十分に慣れ親しんだ文を取り上げ，どのような語順になっているのかに気付き，それを意識して話したり書いたりできるようになることをめざしている。

英語の文構造を理解し，自分たちで言葉を紡ぎ出すことができれば，自分の言いたいことを表現することができる。また，相手の表現していることが，より理解できるようになり，より豊かなコミュニケーションが図れるようになる。言葉でやり取りをする楽しさやすばらしさを感じ，これから先，未知の場面においても，自分達の言いたいことを自分達の力で表現したり，相手の表現していることを理解したりできるようになることが，外国語による表現力の向上や，的確に理解し適切に伝え合うコミュニケーション能力の育成につながると考え本単元を設定した。

○　本学級の児童は，昨年度より外国語活動を行っている。外国語活動についてのアンケートを行ったところ肯定的回答をした児童は次記の通りであった。

1	小学校での英語の勉強は将来役に立つと思います。	100 ％
2	外国語活動（英語）の授業以外で英語を使ってみたいと思います。	85 ％
3	もっと英語を学びたいと思います。	94 ％
4	外国語活動（英語）の授業に進んで参加しています。	88 ％
5	外国語活動（英語）の授業では，英語を使う場面を考えながら活動しています。	88 ％
6	外国語活動（英語）の授業では，日本と外国のくらしや習慣，文化などのちがいを知ることができます。	88 ％
7	相手が英語でゆっくりはっきりと話していれば，どのイラストや写真のことを話しているか分かります。	91 ％
8	相手が英語でゆっくりはっきりと話していれば，だいたいの内容が分かります。	79 ％
9	英語でやり取りをする時には，相手の言ったことにうなずいたり，英語で返事したりしています。	85 ％
10	英語でやり取りをする時には，会話が続くように，知っている表現を使うようにしています。	85 ％

11	英語でやり取りや発表をする時には，自分の考えや気持ちなどを伝えています。	85 %
12	英語の文字（アルファベット）を読むことができます。	94 %
13	英語を読む時には，単語や表現の意味を考えながら読んでいます。	77 %
14	英語を書く時には，単語の間を空けるなど，英語の書き方のきまりを守って書いています。	82 %
15	英語を書く時には，単語をならべる順番を考えながら書いています。	79 %

これらの結果より，児童は，「小学校での英語の勉強は将来役に立つ。」(100%)，「もっと英語を学びたい。」(94%)と思っていることが分かった。また，「英語でやり取りをする時には，相手の言ったことにうなずいたり，英語で返事したりしている。」(80%→85%)，「英語でやり取りをする時には，会話が続くように，知っている表現を使うようにしている。」(77%→85%)，「英語でやり取りや発表をする時には，自分の考えや気持ちなどを伝えている。」(74%→85%)と，１学期から２学期のアンケート時にかけて，やり取りに向かう姿勢が伸びている。しかし，「相手が英語でゆっくりはっきりと話していれば，だいたいの内容が分かる。」，「英語を書く時には，単語をならべる順番を考えながら書いている。」については，ともに(79%)であった。

○　そこで，本単元「We Can! ２ Unit３ He is famous. She is great.」では，これまで音声で十分に慣れ親しんできた「I eat～.」，「I like ～.」，「 I want～.」，「I study～.」，「I play～.」等の既習表現を可視化し，児童が語順に気付いたり，その気付きを活かして文を作ったりすることができるようにする。

児童が語順に気付くためには，耳からだけでなく視覚による情報も大切である。ここでは，聞きなれた文を可視化するために，「誰が（主語）」に当たる語は，文頭にくることを誌面でやワークシートの位置を揃えることによって気付くようにしたい。次に，「どうする（述語）」に当たる語が続くことについては，単語に動作の絵をそえることで，視覚的に印象付けるとともにどの子も内容が理解できるようにしたい。そして，「何を（目的語）」に当たる語については，単語がそえられた絵カードを使い，ALT が発音するのを聞いて選んだり，自分のこととして考えて選んだりしながら置くことで文末に位置付くことに気付かせたい。毎時間，友達とのやり取りを通して，単語がそえられた絵カードを置いて，聞き取った文を再現したり，自分についての文を作ったりしながら，語順への気付きを確かなものにしていきたい。

本単元のゴールとして，音声で十分に慣れ親しんだ表現を使って，語順を意識した書く活動を行う。その際，自分のこととして書くことができるようにすることと，書く必然性をもたせるために，ミッション・ワークを課す。ミッション・ワークは，学校の階段に貼るアルファベット・ステップ・バナーを書いて貼る活動を仕組む。６年生全員で全アルファベットを担当し，下学年に分かるような内容を正しく，丁寧に，書いて貼ることとする。「Ａ～Ｚ」までを６年生全員で分担し担当するが，本時では，グループに１文字を割り当て，ペアやグループワークを通して，一緒に言葉を探したり，下学年にも分かりやすいものであるかどうか話し合ったりしながら進めていく。冠詞の「a」や複数形の「ｓ」については，ALT がチェックすることでその表現に慣れ親しんでいけるようにする。

５　単元目標

【コ】　進んで自分や第三者にできることやできないことなどを伝え合おうとする。

【慣】　自分や第三者ができることやできないこと，何が好きかを表す表現に慣れ親しむ。また，例を参考に紹介する文を書くことに慣れ親しむ。

【気】　〈主語＋動詞＋目的語〉の文の語順に気付く。

新学習指導要領の観点

○　「主語+動詞+目的語」の文の語順に気付き，自分や第三者について聞いたり言ったりすることができる。【知識及び技能】

○　語順を意識して，自分やある人について紹介したり，例を参考に紹介する文を書いたりする。【思考力，判断力，表現力等】

○　他者に配慮しながら，第三者について伝え合おうとする。【学びに向かう力，人間性等】

５つの領域別目標

イ　日常生活に関する身近で簡単な事柄について，自分の考えや気持ちなどを，簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。【話すこと（やり取り）】

イ　自分のことや身近で簡単な事柄について，例文を参考に，音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。【書くこと】

６　単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
進んで自分や第三者にできることやできないことなどを伝え合おうとしている。	自分や第三者ができることやできないこと，何が好きかを表す表現に慣れ親しんでいる。また，例を参考に紹介する文を書くことに慣れ親しんでいる。	〈主語＋動詞＋目的語〉の文の語順に気付いている。

７　単元ゴール

コミュニケーションの目的・場面・状況	①　語順に気を付けながら，自分の言いたいことを伝えている。 ②　語順に気を付けながら，相手の表現を理解しようとする。
目指す発話例	Hello, I'm Ritsuko.　I play the electronic organ. I eat cakes. I like chocolate. I want chocolate cakes. How about you?

８　言語材料（下線は新出表現，語彙）

主な表現	主な語彙
I am (Ken). I [like/play] [the violin/baseball]. I [have/want] a new [recorder/ball]. I eat (spaghetti). I study (math). I can [swim/cook/skate/ski/sing/dance]. I can (play baseball well). Who is this? [He/she] is [famous/great].	famous，　nut，old，身の回りの物（racket），jungle [既出]　he，she，動物，飲食物，スポーツ，身の回りの物，教科，動作，状態，気持ち

９　単元計画

時	目標（◆），主なやり取り等，・誌面化されている活動	評価規準・評価方法
1	◆　「Happy Music Quartet」のポスターから視覚的情報を獲得したり，自己紹介で使っている表現を聞いたりする中で，音声で十分に慣れ親しんだ基本的な表現に見慣れる。 ・Let's Watch and Think１ ○ Target　Language Hello, I' m Carrotina.　C-A-R-R-O-T-I-N-A, Carrotina. I play the recorder.　My recorder is very old. I want a new recorder.　I like carrots.　Do you like carrots? I want nice carrots. ◎ 単元ゴールの活動（ミッション・ワーク）を知る。	【慣】発言 リフレクションカード
2	◆　これまでに音声で十分に慣れ親しんだ食べ物や，動物，身の回りのものなどの語を思い出すとともに，それらの単語に見慣れる。 ★ Small Talk（ALT や先生から児童に対して行う。） Hello, do you like fruits? Yes, I do. I like fruits. Oh, it's nice. You like fruits.　What fruit do you like? I like grapes. You like grapes.　Me,too. ・Let's play 1（キーワードゲーム） ○ Activity１　カードゲームを通して単語に見慣れる。	【コ】発言 【慣】行動観察 リフレクションカード
3	◆　聞き慣れた文を絵カードを使って可視化しながら文を作ることで，英語の語順に気づく。 ・Let's Watch and Think２ ○ Activity１ ① 自分のことについて，食べ物，好きなもの，欲しいもの，勉強する科目の絵カードをテキスト P22 の□に置いて，文を作る。 ② 作った文をペアの友達と伝えあう。 I **eat** cakes. I **like** dogs. I **want** a watch. I **study** social studies.	【コ】行動観察・ワークシート 【慣】行動観察 【気】行動観察・リフレクションカード

4	◆　英語の文には，「誰が（主語）」＋「どうする（述語）」＋「何を（目的語）」という語順の規則性があることを意識しながら，まとまりのある話を聞いて内容を理解したり，文を作って書き写したりする。（ワークシートに記入） ・Let's　Listen１ ・Let's Watch and Think３ ○　Activity１（ワークシート） I eat ＿＿＿. I like ＿＿＿. I want ＿＿＿. I study ＿＿＿. I play ＿＿＿. ①　各文の□に，自分が考えた「何を（目的語）」の絵カードを選んで置く。 ②「私が（主語）」＋「どうする（述語）」の表記は，なぞり書きをする。 ③　□に，①で選んだ絵カードの表記を書き写す。 ※　４線やスペースなどを意識させる。 ○　Activity２ 担当するアルファベット文字から始まる言葉を絵辞書などから見つける。	【コ】行動観察 【慣】行動観察・ワークシート 【気】行動観察・ワークシート リフレクションカード
5 本 時	◆　担当するアルファベット文字から始まる言葉をたくさん見つけ，友達とやり取りをしながら表現に慣れ親しんだり，例を参考に文を書くことに慣れ親しんだりすることができる。 ○　Activity１　カードゲーム①，②，③（ペアワーク） ○　Activity２　やり取りからの文作り（グループワーク） ①　word tennis ②　絵辞書の活用 ③　やり取りからの文作り ④　やり取りをした中から，一文選ぶ。 ○　Activity３　ミッションワークを書く活動 ○　Reflection　time	【コ】行動観察・ワークシート 【慣】行動観察・発言 【気】行動観察・リフレクションカード

10　本時の計画

（１）目標　　担当するアルファベット文字から始まる言葉をたくさん見つけ，友達とやり取りをしながら表現に慣れ親しんだり，例を参考に文を書くことに慣れ親しんだりすることができる。

（２）評価規準

【コ】　友達と絵カードを使って，進んで自分のことを伝え合おうとする。

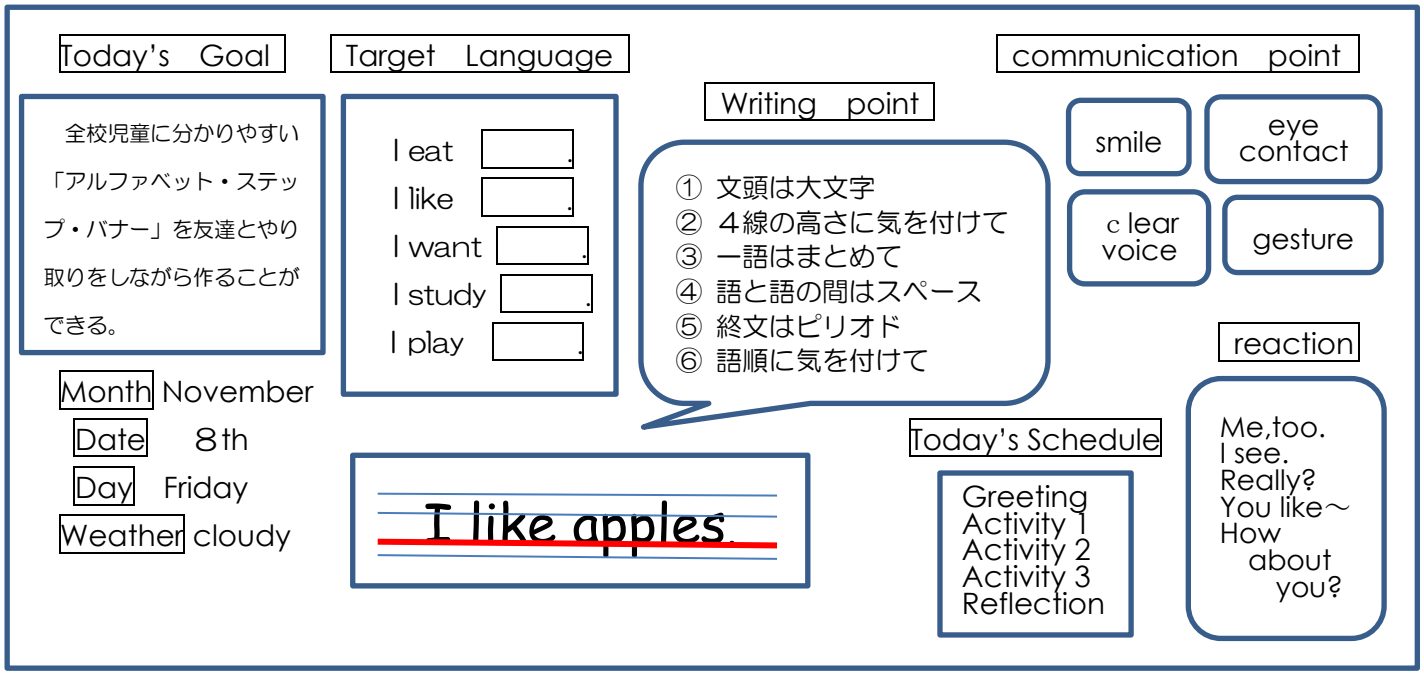
【慣】　好きなものやほしいもの等を表す表現に慣れ親しむ。また，例を参考に自分が選んだ言葉を使って文を書くことに慣れ親しむ。

【気】　文を作る時のきまりに気付く。

（３）準備物　ワークシート，単語がそえられた絵カード，リフレクションカード

（４）展開

学習活動	指導上の留意事項と使用英語例	評価規準・評価方法
１【Greeting】 Hello, everyone. Hello,〇〇. How are you? I'm (fine,great,happy,…). How's the weather ? It's cloudy. What day is it today? It's Friday. What's the date today? It's November ８th. What time is it now? It's one fifty-five.	〇　毎始業時に，定型として行っている挨拶をリーダーが中心となって行うことで，主体性や自信につなげる。 〇　感情や様子を聞き合うやり取りを個別に行うことで，一人一人が自分の感情や様子を考えながら答えたり，友達の発言に反応したりして，児童同士の Small Talk の体験を積む場とする。 〇　今日の天候や日にち・曜日・時刻について，ALT の問いかけに答えることで，既習表現に慣れ親しめるようにする。	
２【Today's　goal】を確認する。	〇　単元ゴールのミッションを知らせることで，本時の書く活動への意欲を高める。 全校児童に分かりやすい「アルファベット・ステップ・バナー」を友達とやり取りをしながら作ることができる。	
３【Activity１】 カードゲーム① カードゲーム② カードゲーム③	〇　絵カードをペアに１セットずつ渡し，ペアワークで進めていく。 〇【カードゲーム①】では，ALT が話した一文を聞き取り，ペアで協力しながら誌面にカードを置いて，内容をやり取りする。 〇【カードゲーム②】では，ALT が言った言葉のカードを取り，誌面のどの文に置くといいのか，ペアで内容をやり取りする。 〇【カードゲーム③】では，各自が誌面にカードを置いて文を作り，ペアで伝え合う。	【コ】友達と絵カードを使って，進んで自分のことを伝え合おうとしている。（行動観察）
４【Activity２】グループ毎に担当するアルファベットで始まる語を使って，やり取りをしながら文を作る。 ①　word tennis 担当アルファベットで始まる言葉を言い合う。	〇　グループの友達とやり取りしながら，協力して進めていくように声かけをする。 〇　グループに１文字，アルファベットカードを渡す。（各グループが違う文字になるようにする。） 〇　アルファベットカードは，４線上に大文字小文字が書かれているものを用意する。	

②　絵辞書（P74～P96）のページからも見つける。 ③　①②で見つけた言葉を使って文を作るやり取りをする。 ④　やり取りをした中から，一つを選ぶ。	○　「動作」や「状態・気持ち」，「位置・方向」等の語は，この度は使えないことを伝える。 ○　「I eat」，「I like」，「I want」，「I study」，「I play」等のどの文で使えそうか，友達とワークシートの「何を（目的語）」の箇所に置きながらやり取りをする。 ○　「I eat」，「I like」，「I want」，「I study」，「I play」の表現は，絵カードを用いることで，どの子にも分かるようにする。	【気】文を作る時のきまりに気付いている。（行動観察・ワークシート） 【慣】好きなものやほしいもの等を表す表現に慣れ親しむ。（行動観察・発言）
5【Activity３】自分が選んだ言葉で文を作り，ワークシートに書く。	○　誤例を提示することで，「書く」時に気を付けるポイントに気付くようにする。 ○　階段のステップ・バナーとして，分かりやすく丁寧に正しく書くように声かけをする。 ○　ALT が冠詞の「a」や複数形の「s」等についてはチェックをする。 ○　書き終わった子は，ワークシートを友達と交換し，見合うように声かけをする。	【慣】例を参考に自分が選んだ言葉を使って文を書くことに慣れ親しむ。（行動観察・ワークシート）
6【Reflection　time】	○　友達とやり取りをする中で，めあてに即した「言葉の選択」，「文の選択」ができたか，「書く時に気を付けるポイント」を意識して書くことに慣れ親しめたか，を振り返るよう声かけをする。	

１１　板書例